

入院中転倒・転落に伴う頭蓋内出血のリスク評価と 画像的特徴の解明に関する研究

1. 研究の対象

2005年1月1日から2025年10月31日までに当院入院中に転倒または転落し、頭部CTを撮影した方

2. 研究目的・方法

入院中の患者さんが転倒や転落を起こすことがあります。特に高齢の方や血液をさらさらにする薬（抗凝固薬・抗血小板薬）を使っている方では、軽い頭の打撲でも出血を起こすことがあります。この研究では、過去に当院で入院中に転倒・転落し、頭のCT検査を受けた方の記録を調べて、どのような患者さんが頭の中に出血を起こしやすいかを明らかにすることを目的としています。将来的に、転倒後にどのような方にCT検査が必要かを判断する助けとすることを目指しています。

2005年1月1日から2025年10月31日の間に、当院に入院中に転倒または転落し、頭のCT検査を受けた方を対象にします。診療録（カルテ）や画像データから、年齢・性別・基礎疾患・お薬の使用状況・転倒時の状況・CT画像の結果などを調べます。これらの情報はすべて個人が特定されないように加工して解析します。新たに検査を行ったり、患者さんに負担をかけることはありません。

研究実施期間：研究実施許可日～2030年9月30日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2026年1月5日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究では、過去に診療のために記録された情報だけを使います。使用する内容は、次のとおりです。

- ・ 診療記録の情報：年齢、性別、入院した科、病気の種類、内服している薬（特に血液をさらさらにする薬など）、転倒・転落のときの状況やけがの部位など。
- ・ 画像データ：転倒や転落のあとに撮影された頭のCT画像。頭の中に出血があるかどうか、出血の場所や広がり、骨折の有無などを確認します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

研究機関名：秋田大学医学系研究科

所属：放射線医学講座

職名：教授

氏名：森 菜緒子

電話番号：0188846179

住所：秋田市本道1-1-1

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽渕 友則